



# 建設コンサルタントの業務概要

---

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

# 目次

1. 建設コンサルタントってどんな仕事
2. 具体的な業務の事例
3. 建設コンサルタントの今後の成長分野
4. おわりに

# 1. 建設コンサルタントってどんな仕事

---

- (1) 建設コンサルタントのビジネスモデル
- (2) 業務の流れ (発注者・受注者の役割)
- (3) 建設コンサルタントの多様な役割

# (1) 建設コンサルタントのビジネスモデル

国民 | 県民 | 市民

社会資本の  
提供 ↑

↓ 納税

行政 (国 | 都道府県 | 自治体 など)  
事業の決定、予算化と執行

成果物  
納品 ↑ ↓ 事業の  
発注

工事の  
施工 ↑ ↓ 事業の  
発注

設計者

(測量：測量業務)

(地質：地質調査業務)

(建設コンサルタント：  
調査、設計等業務)

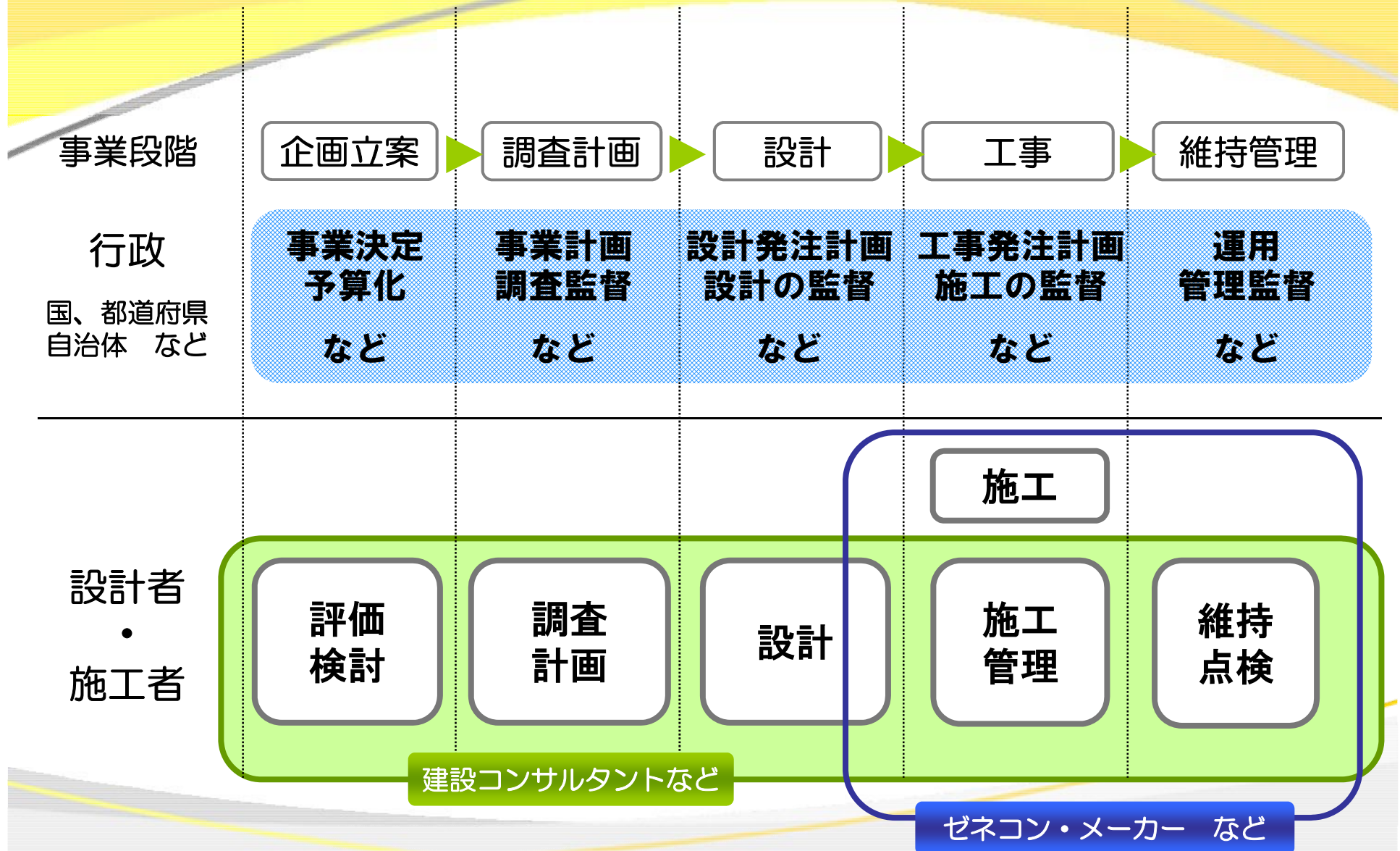
施工者

(ゼネコン：建設工事)

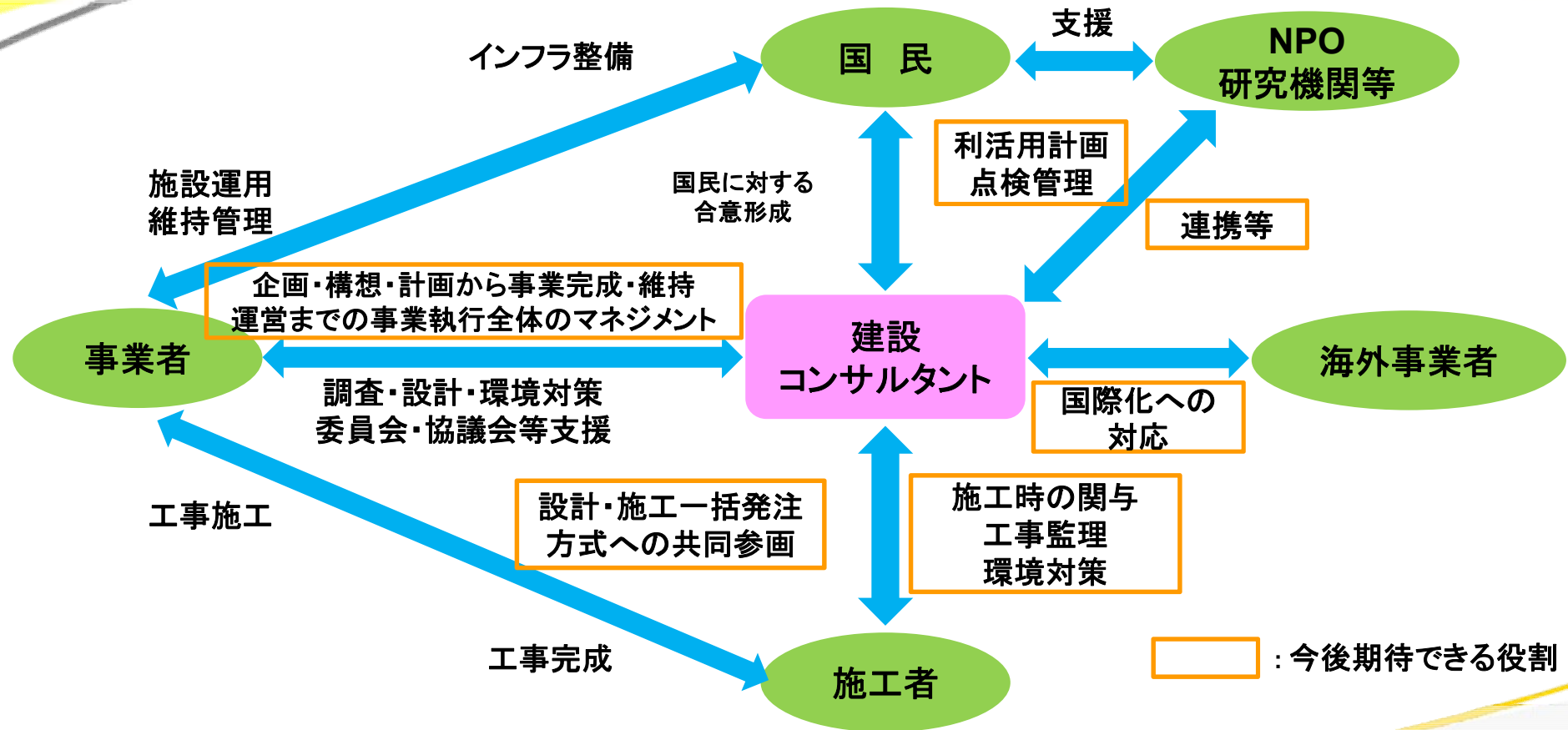
(メーカー：工事に係る製造)

※国内事業の場合

## (2) 業務の流れ (発注者・受注者の役割)



# (3) 建設コンサルタントの多様な役割



## 2. 具体的な業務の事例

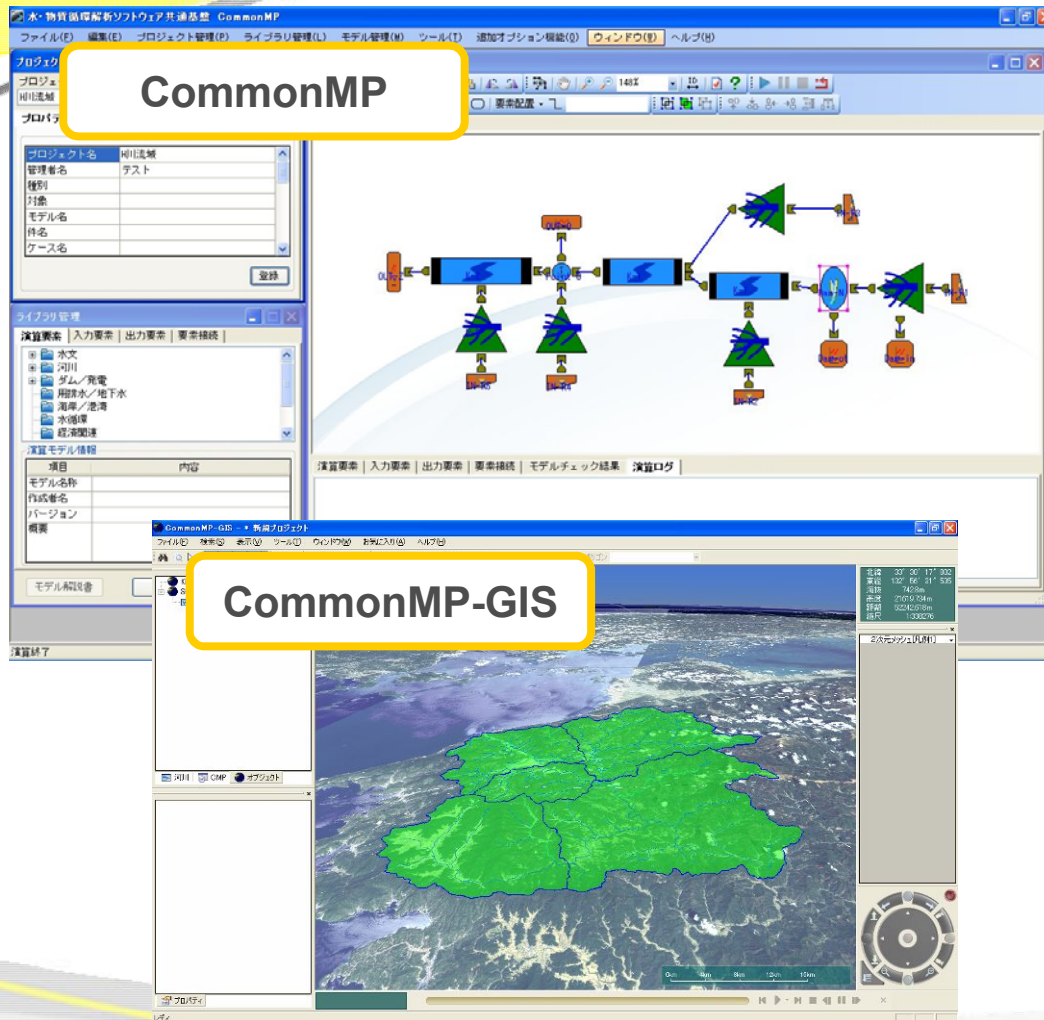
---

- (1) 河川系
- (2) 都市系
- (3) 交通技術系
- (4) 建築系



# (1) 河川系

水理・水文解析



・水理・水文・生態など、様々な現象を解析する場合に別々のモデルで解析する必要があるが、これを一体的に協調・稼働させるためのソフトウェアの開発

・開発の効果

・様々なモデルをそれぞれ別々に開発しても、最後に統合可能

・モデルの機能の付加や削除が容易に可能

参考URL: <http://framework.nilim.go.jp/>

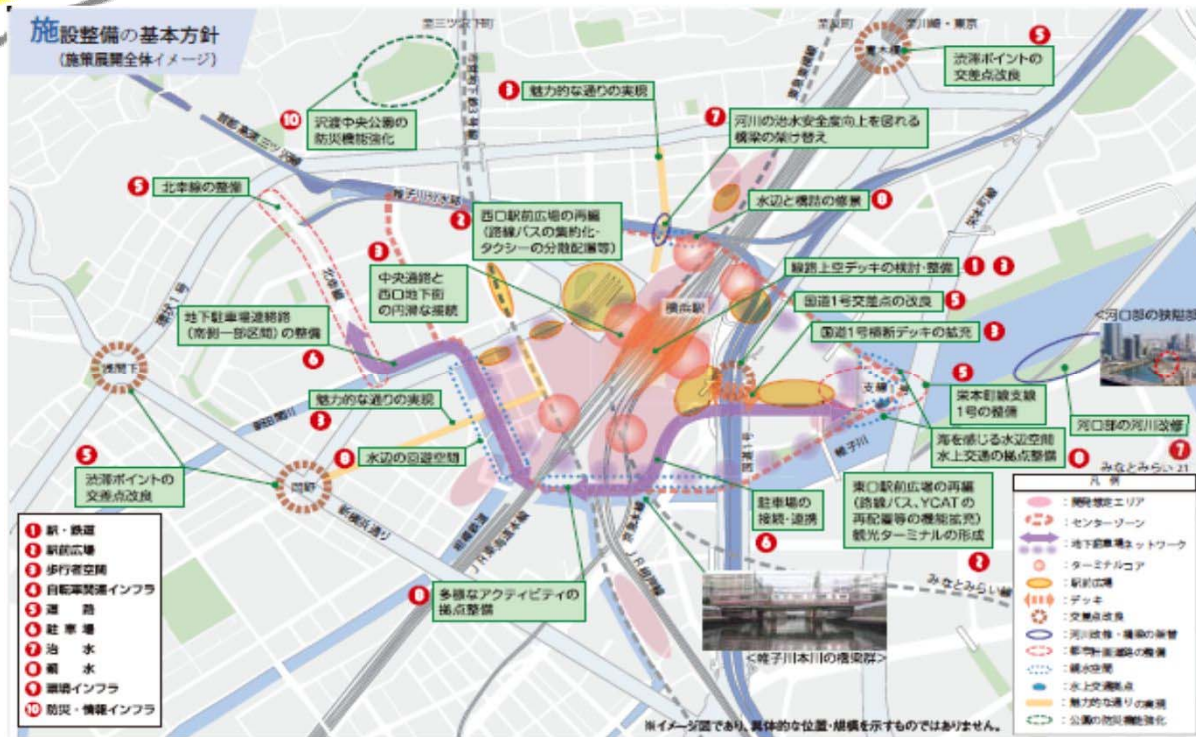
水理水文解析 (ソフトウェアの開発も行う)



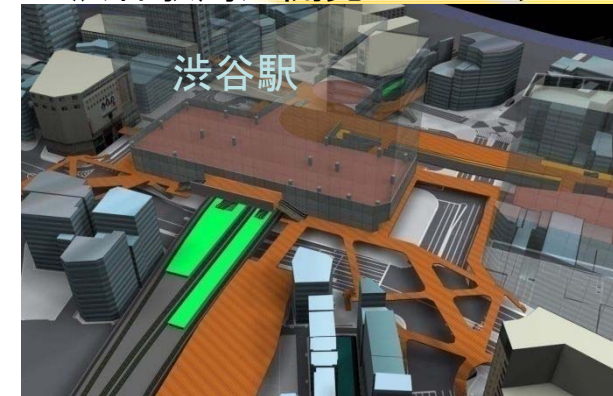
## (2) 都市系

### 駅周辺開発プロジェクト

#### ▼横浜駅周辺大改造計画(エキサイトよこはま22)



#### ▼渋谷駅周辺開発プロジェクト



#### ▼新宿駅南口基盤整備事業



- 交通結節点整備をはじめとした都市再生プロジェクト
- 「都市再生緊急整備地域」で実施
- 事業スキームから施設計画まで、一貫してコーディネート。



# (3) 交通技術系

## 道路計画／整備効果



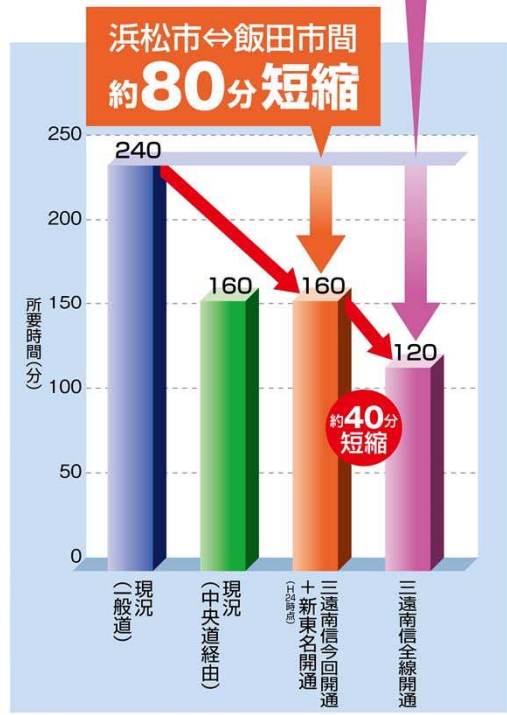
浜松⇔飯田間の  
所要時間短縮

浜松市⇔飯田市間  
約**120分**短縮

◎道路利用における  
時間短縮効果の例  
(浜松⇔飯田 間)

【現状】  
計400分  
— 往路: 160分  
— 復路: 240分

【全線開通後】  
計240分  
**160分短縮!**



- その道路（社会資本）ができると、どんな影響があるかを調査・検討
- ヒアリング、交通量調査・予測等を実施し、国民にわかりやすい指標等に換算
- コンサルタントの提案が、国の政策に直結

## (4) 建築系

### 河川・下水道等建築設計

#### ▼施設のプランニング

- ・ 河川、下水道等の施設として要求される機能を満足すること
- ・ 施設運転や保守点検及び設備の更新などの作業性を考慮
- ・ 都市計画や建築基準法及び関係法令を遵守すること
- ・ 構造的な整合性がとれ、安全であること
- ・ 周辺環境に配慮し、地域住民に親しみやすい施設であること

#### ▼実施設計

- ・ 実施設計図の作成（意匠図、構造図、建築設備図）
- ・ 構造計算書の作成
- ・ 機能計算書の作成（換気、空調、照度等の建築設備）
- ・ 数量計算書及び概算工事費の算定

- ・ 河川・下水道施設設計は土木、建築、機械、電気と多岐にわたる職種により構成
- ・ それぞれの担当でチームを組み調整を繰り返しながら施設を作り上げていく







### 3. 建設コンサルタントの今後の成長分野

---

- (1) 建設関連業を取り巻く社会環境の変化
- (2) 今後拡大が予想される事業の事例

# (1) 建設関連業を取り巻く社会環境の変化

社会環境の変化により、事業モデルの転換期を迎えている。

## ①社会ニーズが多様化・高度化

環境問題の深刻化、また物資の量的な充足により、ライフスタイルや価値観が多様化。QOL（生活の質）の向上に対するニーズが高まっている。

## ②国際化への対応

マーケットは世界へ。これまで培ってきた日本の高い技術で世界に貢献。政府の新成長線略の1つとして位置づけられ、国全体で取り組んでいく。

## ③インフラは新設から運営・維持管理へ

少子高齢化が進展し財政制約が厳しくなる今後、新たなインフラ整備が減少。都市活性化や既存施設の運営・維持管理などが求められている。

## (2) 今後拡大が予想される事業の事例

### ①社会ニーズが多様化・高度化

環境問題やエネルギー対応などQOL（生活の質）の向上に貢献

バイオマス  
利活用

風力発電

公園・  
緑化事業



太陽光発電

小水力発電

屋上緑化

モビリティ  
マネジメント

カーシェア  
リング事業

自転車  
利用支援

これからの事業のイメージ



## (2) 今後拡大が予想される事業の事例

### ②国際化への対応

#### 例) カタール：全国総合開発計画

2030年国家開発ビジョンを実現するプログラムとして、経済基盤施設や公園緑地などを含むマスタープランを策定。



#### 例) エジプト：風力発電プロジェクト

ODAを活用した風力発電所を建設するためのコンサルタント業務。基本設計、入札に関する業務、施工管理などを行う。



出典：(株)オリエンタルコンサルタンツ

## (2) 今後拡大が予想される事業の事例

③インフラは新設から運営・維持管理へ

### 例) 点検・モニタリング (維持管理)

交通の保全、また変状の早期発見を目的として、橋梁の点検・モニタリングを実施



### 例) 公園の運営管理

(PPP・PFI事業)

公園の運営マネジメント、イベントの企画提案や実施などを手がけ、地域活性化の支援を実施



出典: (株)オリエンタルコンサルタンツ



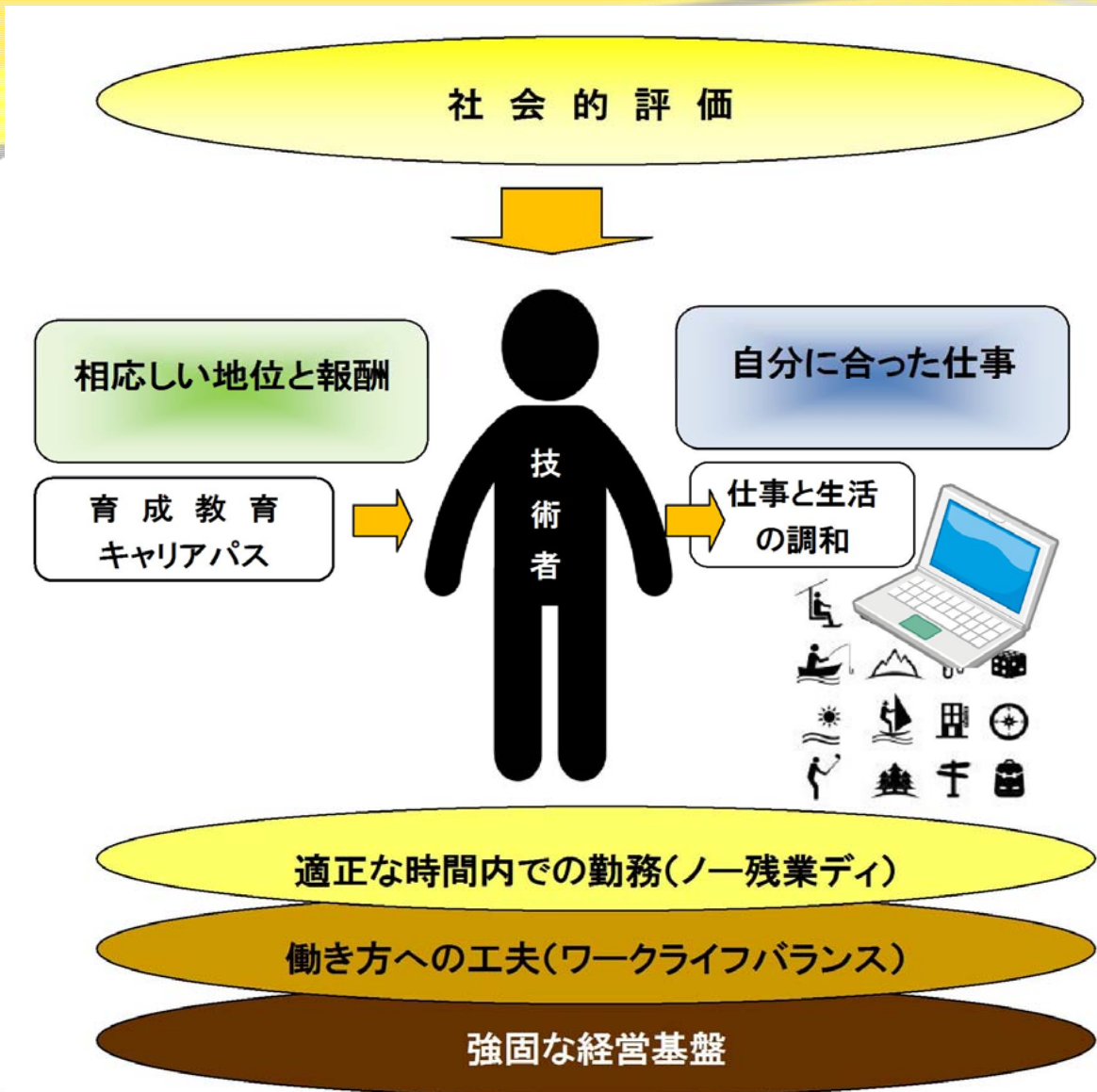
## 4. おわりに

---

- (1) 建設コンサルタントの魅力
- (2) 建設コンサルタントのキャリアパス



# (1) 建設コンサルタントの魅力



出典：『建設コンサルタントビジョン2014』（一社）建設コンサルタンツ協会

# (1) 建設コンサルタントの魅力

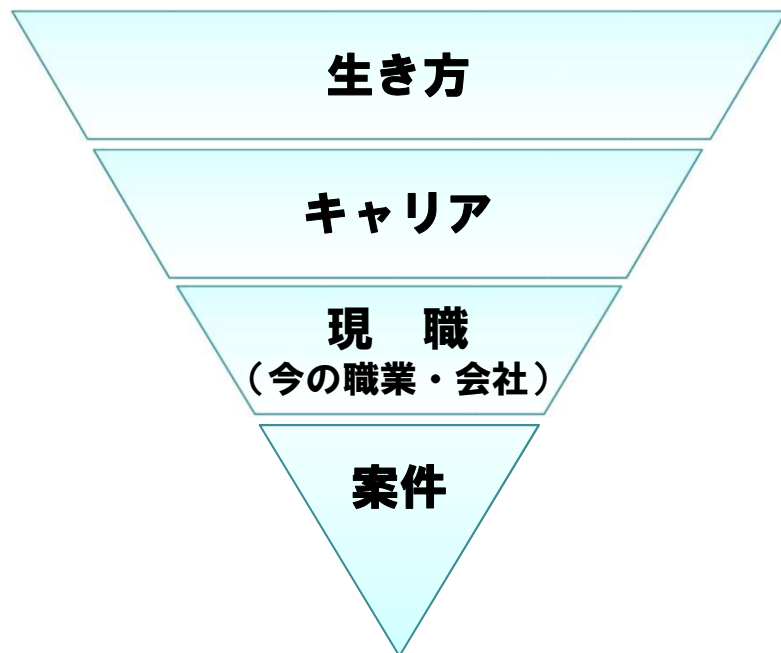
建設コンサルタント  
の仕事とは…



『未来をつくる仕事』

## (2) 建設コンサルタントのキャリアパス

キャリア＝「働き方」であり  
「生き方」に繋がるもの



### キャリアパスの3つの方向

経営層  
志向

管理職・部長・取締役・・・  
とステップアップ

生涯技術者  
志向

専門分野技術に特化し、  
熟練技術者として生涯を全う

起業家  
志向

第二の専門分野を持ち起業  
(個人事務所、環境ビジネス 等)



## (2) 建設コンサルタントのキャリアパス

生涯技術者指向のキャリアパスのイメージ

成熟度

地方整備局長表彰  
業務評定点の向上

シニア  
コンサルタント  
として活躍!

「ダムの神様」  
「斜面災害の△△さん」

管理技術者  
として  
プロポーザル  
に従事

技術士  
資格取得

新入社員研修

CPD (継続研鑽) 制度

30

年齢

60

65

21

## (2) 建設コンサルタントのキャリアパス

### キャリアパスの具体事例

歳	入社年数	仕事	役割	資格
20	入社			
	1	★環境部配属 (道路交通に関する騒音・振動対策)	●業務担当者補助	◆技術士補
	3		●業務主担当者 (連絡窓口)	
	5	★国土交通省出向 (政策研究)		
	6			◆技術士(建設環境)取得
30	7		●管理技術者	
	8	★本社保属 (業績予測・管理、リスクマネジメント)		
	10	★環境部配属 (道路防災、地震対策)		◆危機管理士(社会リスク、自然災害)取得
	13	★防災事業部配属 (道路・港湾防災、地震・土砂災害・火山噴火対策)	●チームリーダー	◆防災危機管理者取得
40				